

## 利便性向上や安全対策のための施設・設備の整備について

2019年12月20日  
あいの風とやま鉄道(株)

来年度以降において、更なる利便性の向上や安全対策の充実を図るため、以下の事項を検討しており、その準備に入りたい。

### 1 斜面等予防保全対策の実施（2020[令和2]年度）

台風19号をはじめとする風水害による斜面崩壊の復旧や排水能力の向上などの予防保全対策を実施し、列車の安全運行を確保するもの。

- 整備箇所

斜面对策工事（1箇所）＝泊～越中宮崎間

水路等改良工事（3箇所）＝小杉構内～呉羽間

呉羽～富山間の2箇所

- 概算経費

斜面对策工事 30百万円

水路等改良工事 34百万円（4箇所計 64百万円）

泊～越中宮崎間 鉄道林斜面



呉羽～富山間（現況は土側溝）



### 2 滑川駅のバリアフリー化の推進（2021[令和3]年度）

今年度基本設計を実施している滑川駅のエレベーター設置について、国の補助が受けられることを前提に、来年度以降、詳細設計や建設工事を進めるもの。

- 設置台数

2台（11人乗り）既存の跨線橋に設置

- 概算経費

200百万円（2021[令和3]年度 建設工事）

（このうち国補助1/3及び滑川市・県補助1/3を除く約70百万円について、2019年度における県経営安定基金からの繰入れの残余分を基金内に留保。）

### 3 投排雪保守用車の整備（2022[令和4]年度）

2017年度及び2018年度の  
県経営安定基金剰余金活用

現在運用しているラッセル車が製造から40年以上経過し老朽化していることから、新たに投排雪保守用車を整備するもの。

※保有ラッセル車2台のうち2台目の更新（1台目は2020[令和2]年度に整備予定）

※2台目は製造元の製造スケジュールの関係で2022[令和4]年度に導入予定。

- 導入予定機種

ENR-1000

（2020年度導入機種と同じ。ラッセル・ロータリーの両機能を有することから降雪状況に応じた運用が可能となる。）

- 製造価格

300百万円（2022[令和4]年度 導入）

（このうち国補助分1/3を除く200百万円について、2019年度における県経営安定基金からの繰入れの残余分を基金内に留保。）